| 学校番号 | 319 |
|---|---|

# 令和３年度　家庭科

| 教科 | (専)家庭 | 科目 | 子どもの発達と保育 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「子どもの発達と保育」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもとの触れ合いを通して将来社会で子どもの発達や子育て支援に貢献できる人をめざしましょう。
・子どもの発達や保育についてワークショップやＤＶＤ、作品製作を通して、知識・技術を深めます。
・保育所実習を通して子どもの発達の特性を考えることや子育て支援の大切さを体験します。
・学んだり作ったり調べたことを発表し合い、様々な考え方を知り、自分の考えを確立します。

## ２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、将来子どもの発達や子育て支援に寄与できる能力と態度を育てる。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 子どもの発達の特性、保育について関心をもち、実践的・体験的学習を通して意欲的に取り組もうとしている。 | 子どもの発達の特性、保育について家庭や地域、保育所の現状を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 | 子どもと適切に触れ合うことができたり、発達に適した調理、作品製作ができる技術を身につけている。 | 子どもの発達の特性、保育について理解し、子どもを通して社会に寄与するために必要な基礎的知識を身につけている。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>ワークシート記述 | 学習状況の観察<br>ワークシート記述<br>実習記録表<br>調理計画、製作計画<br>発表 | 学習状況の観察<br>ワークシート記述<br>実習記録表<br>調理計画、製作計画<br>作品　発表　実技テスト | 学習状況の観察<br>ワークシート記述<br>実習記録表<br>調理計画、製作計画<br>発表　定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | 子どもの発達の特性　子どもの発達過程　保育所実習 | ○胎児と新生児の発育、乳幼児の発育、乳幼児の精神発達、人間関係の発達、発達の個別性と保育<br>○生活と養護、生活習慣の形成、健康管理と事故予防、生活と環境<br>○保育所実習の心得、オリエンテーション、保育所実習 | ○<br>○<br>◎ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>◎ | ○<br>○<br>○ | a:子どもの誕生から幼児期までの発達の時期における特徴や個人差について関心をもち、体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b: 子どもの誕生から幼児期までの発達の時期における特徴や個人差について、家庭や保育所実習を通して課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c: 子どもの誕生から幼児期までの発達の時期における特徴や個人差を考え、子どもと適切に関わる技術を身につけている。<br>d: 子どもの誕生から幼児期までの発達の時期における特徴や個人差について理解し、家族や地域社会が果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 | 学習状況の観察<br>ワークシート<br>記述<br>実習記録表<br>発表<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 子どもの生活 | ○生活養護<br>○生活習慣の形成<br>○児童文化財<br>○健康管理と予防<br>○生活と環境 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>◎<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a:乳幼児の生活と養護、生活習慣の形成、健康管理と予防、児童文化財、生活と環境について関心をもち、体験的な学習を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b: :乳幼児の生活と養護、生活習慣の形成、健康管理と予防、児童文化財、生活と環境について関心をもち、体験的な学習を通して課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:子どもの生活習慣の形成、健康管理と予防、児童文化財、生活と環境を考えて、子どもと適切に関わる技術を身につけている。<br>d: 乳幼児の生活と養護、生活習慣の形成、健康管理と予防、児童文化財、生活と環境について理解し、家族や地域社会が果たすべき役割を認識するために必要な知識を身につけている。 | 学習状況の観察<br>ワークシート<br>記述<br>実習記録表<br>発表<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 子どもの保育　子どもの福祉と子育て支援 | ○保育の意義、指導の原理、保育者の役割<br>○家庭保育と集団保育<br>○児童福祉と法規<br>○子育て支援 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br><br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:保育の意義、家庭保育と集団保育、児童福祉の法規、子育て支援、児童虐待について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b: 保育の意義、家庭保育と集団保育、児童福祉の法規、子育て支援、児童虐待について課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c: 保育の意義、家庭保育と集団保育、児童福祉の法規、子育て支援、児童虐待を総合的にとらえた上で保育の目標に応じた基本的な保育の方法を身につけている。<br>d:子どもの発達を促すための保育の重要性や児童福祉の理念を理解し、近年の子育て支援の考えや施策について認識するために必要な知識を身につけている。 | |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。